

令和4年度 秋田わか杉科学技術奨励賞 受賞者決定のお知らせ

秋田県は令和4年度秋田わか杉科学技術奨励賞の受賞者を、秋田県立大学システム科学技術学部の李雪助教と、秋田大学大学院理工学研究科の後藤育壮准教授に決定し、11月22日、秋田県庁内において表彰式を行いました。

本賞は若手研究者の研究開発意欲を喚起することにより、優れた若手研究者を持続的に輩出するため、秋田県が平成19年度に創設したもので、対象は県内の高等教育機関、公設試験研究機関および企業に所属する40歳未満の研究者です。



受賞者紹介 //////////////////////////////////////



秋田県立大学 システム科学技術学部 建築環境システム学科

助教 ^{り せつ} 李 雪 氏

研究テーマ **「鳥海山山麓における
農業近代化遺産としての混構造堆肥小屋に関する研究」**

明治末期から昭和中期にかけて行われた「乾田馬耕」という農業改革によって、秋田県では腰壁が石積みで作られた堆肥小屋が一気に広がるなど、この堆肥小屋は日本農業近代化の重要な物的証拠です。本研究では堆肥小屋の現存状況と構法の特徴を実測調査で把握するとともに、建設技術と生産組織の実態解明を行うことによって近代化遺産としての価値を再評価し、地域資源として、まちづくり、地域づくりの重要な基礎資料となることが期待されます。



秋田大学 大学院理工学研究科 物質科学専攻

准教授 ^{ごとう いくどう} 後藤 育壮 氏

研究テーマ **「異種材料界面の挙動に着目した casting 時の現象解明及び
環境調和熱電モジュール・高効率ローターの低コスト製造への応用展開」**

液体状態の金属を鋳型に流し込んで凝固させる鋳造は、自動車のエンジンなど、様々な金属部品の製造に役立っています。本研究では鋳造工程で異種材料が接触する際に生じる様々な現象のメカニズム解明を行い、その制御による問題解決や有効活用のための研究に取り組んできました。これらの取り組みは熱電変換モジュールや高効率モーター用部品の低コスト製造に繋がり、再生可能エネルギー関連産業における高付加価値製品の実現が期待されます。